

Corenet EdTech 通信

■ GIGAスクール構想について

文部科学省は2019年12月にGIGAスクール構想の実現についての施策を発表しました。GIGAスクール構想とは「1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークの整備、クラウド活用推進、EdTech機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進め、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる」ための計画をまとめた施策です。今回の施策では安価に環境整備を実施するための導入モデルと2318億円の予算が示されています。公教育におけるEdTech環境整備は急速に進むと推測されます。



Pickup!
GIGAスクール

東京立正中学校・高等学校

コアネット教育総合研究所 ICT 推進事業部

岡田 育也

「e-ラーニング、e-ポートフォリオ」でICTを積極的に活用

授業を家庭学習で積極的に活用



2018年4月より、1人1台のタブレットの本格導入を開始した東京立正中学校・高等学校ではWindowsタブレットを導入しています。eラーニング（個別学習用教材やオンライン英会話など）授業を家庭学習で積極的に活用し、各科目の基礎学力や英語4技能の向上を図っています。また、「Japan e-Portfolio」や学習支援プラットフォームにて、学習履歴・成績状況をデータベース化し、生徒指導に活用しています。

東京立正において注目すべきは、導入初期におけるICT活用主体を「生徒」にしたことです。教員がICT機器を活用した授業を行うためには長い準備期間が必要です。また、教員間でスキルや意識にも差があり、ICT活用型授業を足並みを揃えて実施することは困難であると予想されました。

そこで、導入初期は「eラーニング」や「学習履歴の入力」など生徒が主体となってICTを利用し、その後徐々に教員による活用場面を増やすという計画を策定したことで、授業内での混乱を避け、スムーズな導入が実現しています。

具体的な活用状況としては、中学校では、全学年の英語・数学の授業、補習でeラーニングが活用されており、高校では、英語・数学・国語で基礎的な内容を反転授業・宿題で利用する他、大学受験向けのハイレベルな内容を生徒のレベルに応じて個別学習で使用しています。

生徒のeラーニング実施状況は教員が常にチェックできるようになっており、成績状況の確認はもちろん、反転授業の内容を確認していない、または宿題をやっていないなどの生徒に対して、提出期限前に注意喚起をしているとのこと。また、中学生は授業内で週1回25分程度オンライン英会話を実施しています。ネイティブとの英会話によって「話す・聞く」力を養います。

個別最適化された学習で教学力向上



eラーニングによって、生徒が自分のペースで楽しみながら学習に取り組む個別最適化された学習がスタートし、教学力向上への手ごたえを感じているとのこと。

また、2014年から導入している学習支援プラットフォームでは、生徒の生活の様子、成績状況、進路希望、指導履歴の情報を「ポートフォリオ」として教員が記録し、一括管理しています。模試の成績状況と、このポートフォリオを参照しながら学年・コースの指導計画や指導結果分析を行っています。また、「Japan e-Portfolio」にて、生徒自身による学習履歴の蓄積を行い、教員と生徒で定期的に活動の振り返りを行うサイクルを構築しています。

学校内外の様々な活動を記録し、その振り返りを実施することで、21世紀型スキルの習得など、教育効果を高めています。

オススメ デバイス!!

ICT 機器の導入を検討するにあたって重要となる機器選定。学校ごとに実現したい教育によって最適な端末を選ぶ必要があります。このコーナーでは毎回 ICT 機器をピックアップし、その特徴をご紹介します。

機器の通信方法 — セルラーモデルと Wi-Fi モデルの違い —

機器を選ぶ際にまず検討することとなる通信方法。その中でも「セルラーモデル」は携帯通信回線でも通信が可能な端末です。通信のために Wi-Fi ルーターなどの環境整備が必要な「Wi-Fi モデル」に対して、「セルラーモデル」は電波が届けば場所を選びません。毎月の通信費がかかる、月の容量制限によっては速度制限がかかることがあるなどの注意点はありますが、自宅での個別学習、校外活動での活用など Wi-Fi モデルより幅広く活用いただけます。Wi-Fi にもつながることができるので併用するケースが多いです。

セルラーモデルなら Apple社が提供する「iPad」



- ▶ 軽量で持ち運びやすく、動作が軽いので直感的に扱いやすい!
- ▶ スマートフォンに近い操作感ですぐに慣れる!
- ▶ キーボードとセットでも利用可能
- ▶ セルラーモデル（携帯通信回線）で利用できるから Wi-Fi 環境がなくても大丈夫
- ▶ 自宅での個別学習をはじめ、校外学習など幅広い活用が可能

最新モデル・・・ iPad(第7世代)

Apple Pencil(第1世代)、Smart Keyboard に対応した最新第7世代の iPad。10.2インチの大画面で493gと軽量。セルラーモデルの32GBで¥49,800(税別)。

ICT 導入を考えるなら

コアネット ICT ソリューションにご相談ください

ICT 機器選定相談

教員研修 ICT 導入研修

ICT 利活用アドバイス

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当: 岡田、川田)

E-mail info@core-net.net

オンラインでの学びに役立つサイト公開中

URL www.core-net.net/ict/



コアネット教育総合研究所

